



変化と進化は
未来のために



GREEN LIDAR DRONE

宮本組は、土木建設業界を取り巻く課題解決への期待を背負い
業界の中でも早くからICT施工に取り組み

2015年12月には「ICT施工課」を設立しました。

以降、各種研修の実施や最新機種の実験、メーカーへの協力を仰ぎながら
日々技術向上に努め、専門的なノウハウを蓄積し続けています。

最先端のテクノロジーを駆使した、さらなる安全で効率的なモノづくりを通して
社会と業界の発展に寄与すべく、宮本組は進化を続けます。



宮本組保有測量設備

- 無人航空機 (UAV)
DJI - Matrice 600 Pro
- ドローンレーザーシステム
amuse oneself - TDOT GREEN

さらなる進化が
測量・計測の
新たな世界を拓く



変化と進化は
未来のために

伐採前の状態から 樹木下の地表面をデータ化

森でも、空中から照射されたレーザーの一部は
枝や葉の隙間から地表に到達します。
この点群のみを取り出すことが出来るので
伐採前でも正確な土量の把握が可能です。

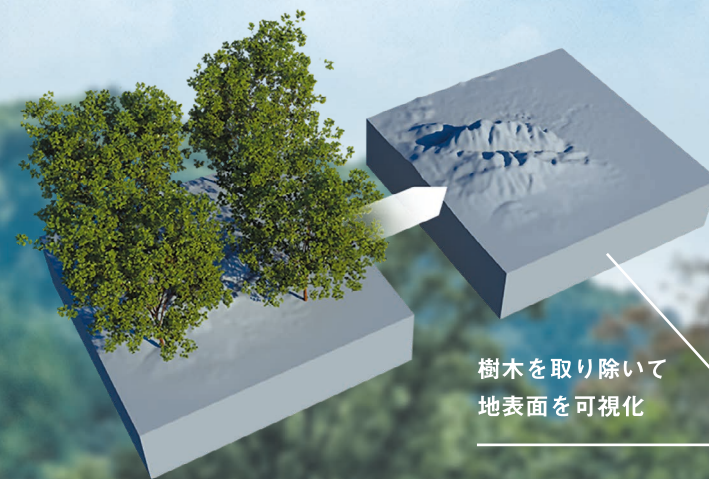
高精度な測量成果

+

スピーディーに納品

+

リーズナブルに導入



樹木を取り除いて
地表面を可視化



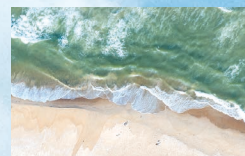
水面下の地形も面的にスキャン 濡れた対象物の計測も可能にする

通常のレーザースキャナは、波長905nmの近赤外線を使います。

近赤外線は黒いものや濡れた部分では吸収されるため、データ取得ができません。

これに対して波長532nmのグリーンレーザーを使うと吸収が弱く反射エコーが戻るため、黒いものや濡れた部分、水域でもデータが取得できます。

■ データ取得対応



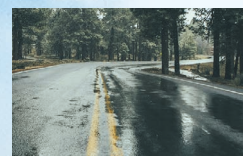
沿岸



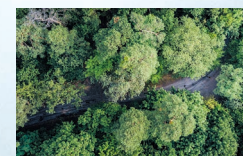
河川



アスファルト



濡れた地面



植生下

BUSINESS FLOW

事前調査協力依頼

提案・入札

受注・契約

実行予算書作成

施工

完成・引渡し

これまで「MIYAMOTO ICT」が担ってきたフィールド

これから「MIYAMOTO ICT」が担っていくフィールド

新たな連携で築く イノベーション

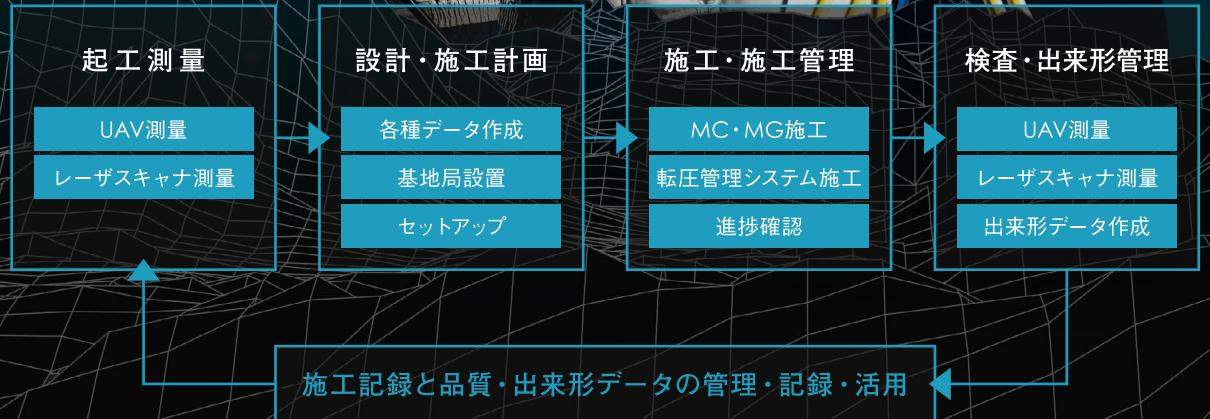
レーザー測量による、高精度なデータを基にした
施工計画と建機のセットアップ。

施工が開始された後の進捗や出来形管理と検査。

各プロセスでのICT技術活用により、

さらなる高い安全性と生産性を確保します。

PROCESS



HELLO NEW STANDARD


ICT施工で
造りあげる
ミライ

姫路本社ICT施工課

〒672-8080 兵庫県姫路市飾磨区英賀宮町一丁目17番地
TEL 079-237-0111 (代) FAX 079-237-0118

関東支店ICT施工課

〒299-1147 千葉県君津市人見1040番地の12
TEL 0439-52-3636 (代) FAX 0439-52-3637

 **宮本組**

MIYAMOTO

<https://miyamotogumi.co.jp>

